

平成28年 4月18日

お客様各位

株式会社 山喜農園
新潟県魚沼市原1280-1
TEL. 025-794-2455
FAX. 794-4168

E-mail: info@yamaki-noen.co.jp

HP Address: http://www.yamaki-noen.co.jp

球根情勢報告

平素よりお引き立ていただき誠にありがとうございます。

また大きな自然災害が起きてしまった様です。お見舞い申し上げます。
大きく被害が拡大しない事を願っております。

昨年の暮れ以来でしょうか…、随分長い事「情勢報告」を作成配布しておりませんでした。

特段意図はありませんでした。
強いて言うなら忙しすぎた事。
情勢の変化があまりにもめまぐるしすぎて、文章にするのが恐かった。
覚悟が決められなかった辺りが作成できなかった理由だと思います。

随分時間もかかりましたがある程度考えをまとめましたので、私が考えている・受け止めている情勢をご報告致します。

オランダ産アイリス

昨年納品させて頂いた抑制球根の品質は、近年では最も良かったのではないかと思います。
球根物流時の品質劣化が無かった事が、品質の良かった主要因だと考えています。
促成球根については、一部で事故球が確認されてしまいました。
リスクは伴いますが、仕入先球根農家を変更して来シーズンに臨みます。(報告済み。)

日本の気象推移が主要因だと考えられますが、切花市場価格は惨敗という結果だったように感じています。
気象要因ですから、人間がどうにかできる問題では無かったにせよ、あまりにも酷過ぎた。

今や約10,000,000球内外の産業規模にまで縮小してしまいそうですが、何とか踏ん張っていければなあと思います。

今年供給予定のP.O社扱い/ハブリッジ社のアイリス/超促成球・促成球が、どんなパフォーマンスをしてくれるか？
球根供給の安定化が図れればと考えています。

新潟のアイリスの導入・千葉の30℃無冷球輸入量増加など、球根流通の難しさを理解して頂き、古きを温め直して頂き、新しき事にも挑戦して頂く！

これだけ苦しくても前向きな取り組みをしていただき、大変感謝しておりますし、「球根屋も頑張らなけりゃ！」と気持ちを引き締めています。

なお、P.O社/ハブリッジ社が取り扱っているブルマジック主要農家の球根は、オランダでも数少ないメリコンによってウイルスフリー化した球根を原母球にして生産しています。

どうりで他輸出業社も欲しがらるわけだ…。

オランダ産チューリップ

切花生産流通量が、ほぼ隔離検疫免除前(1980年代後半)の水準にまで戻ってしまったことを、はっきり口に出して話してよい年となったのではないのでしょうか？

約40~45,000,000本内外…使われている球根の大半は、国産球からオランダ産に変わってしまいました。チューリップ切花産業の変遷は、アイリス/ガラス/フリジア/透かし百合同様、多くの事を語っています。

一部のチューリップ切花農家、当社からチューリップ球根を仕入れていただいている方々は、なんとなく気づいているのではないかと思います。

新潟市の球根業者様が4年目を迎えたチューリップ試験栽培を実行されていますが、そちらを訪問された方々も気づき始めているのではないかと思います、「もう一回はじめなおせる気配」を感じていませんか？

隔離検疫が免除されてもう少しで30年です。

チューリップ切花経営中心世代も替わってきています。苦しく低迷していた期間を乗り越えて、次の流れが作っていけたら…、そんな年になっていたなと思います。

16年産は…、ピンク/赤系を品種更新？いやいや、新品種の導入が進むように感じています。

今や最後のスタンダード品種となった2つの品種と共に、新たにチューリップに目を向けてもらえたならな、と願っています。

まだまだ球根輸入量が、上向く方向になるかはわかりません…。

N. Z 産チューリップ

昨年並みの入荷予定。ステージGが大幅に遅れて、入荷は6月下旬になりそうです。

申し訳ございません。

但し、この事は切花品質の為には良いのではないのでしょうか？

芍薬/鈴蘭

次回に報告を送ります。

鳴子百合

大切なお知らせがございます。

長らく当社主要取扱品目として営利切花栽培向け鳴子百合苗生産を行っておりましたが、本年16年産を持って生産・販売を休止させて頂くことになりました。

17年産以降の自社生産は計画されておられません。

長らくお世話になりましたが、一旦休ませていただきます。

再開の目途は？立てておりません…。

新潟県/長野県等、主要な苗生産産地の皆様には本当にお世話になりました。

長らく当社鳴子百合苗を使って頂いた切花産地の皆様には大変お世話になりました。

当社生產品だけではなく、旧堀之内町産/旧中里・津南産/一部長野県飯山産を55年以上使い続けて頂いた皆様へは、ありがたくてありがたくて、それ以上の言葉はありません。

何らかの形で復活致します。

昨日（本当に昨日…4月14日に起きた事です。）食品関係から降ってわいたような話が舞い込みました。

これから技術的な検証を進めていきます。

いつ？とはっきりお話しできるレベルに至るかどうかわかりませんが、もしかしたら鳴子百合苗生産/切花産業にとっては革命に近い変化が起きるかもしれません。（小さい話ですけど…。）

東京リビッツ頃までには、再び皆様とお話出来る様になれば…夢のような話ですが、ちょっとだけ夢を見させていただきたいです。

鳴子百合苗が過剰な時代には、和漢薬会社様との商品開発、本気の取り組みをしてきた経験があります。今度は食品…。

大きな違いは生産農家の苗販売価格帯が今の水準の2倍以上となる可能性を秘めているという事です。
今時そんな事ってあるのでしょうかね？

もしかしたら…一度諦めざるを得なかった苗生産をもう一度考えていただける可能性が…。

県内外の既存の鳴子百合苗生産農家/土の中から掘り上げるタイプ^①の農産物生産を行っている農家の方で、興味がある様でしたら是非お声掛けください。

この地域の農産物を守る…和漢薬会社との長い間の目標目的が何らかの形で実を結ばば…。

国産百合球根

新品種養成球導入に少しだけ変化の兆しが出てきています。

Plamv 問題を抱えている国産百合球根産業にとって営利栽培家向け/業務向け、両方とも極めて苦しい状況となっているなあと感じています。

理由を説明すると長くなるので今回は控えますが、一つ大きな意味のある数字をお繋ぎします。

この方法はうまくいこうが、いかざろうが、百合球根流通の将来を予測するには、大きなヒトになると考えられるでしょう。

品種名は、仮に「PQT」とします。(ブルスカに良く似ています。)

16年産養成球確保数約 160,000 球=17年産国産球・18年切花流通。

これは、18年切花流通させるために用意させる北半球産球根(オランダ産/フランス産/日本産の17年産合計数)の80%内外を意味します。若干の変動はお許してください。

これは新しい動きですか？古きを温めているのですか？

オランダ養成球の流通が変わります。

これは新しい動きですか？古きを温めているのですか？

輸入百合球根

15年産オランダ産百合球根

A. H/L. A

品質は、促成作型では悪くない。

抑制作型では、近年では最も品質リスクが高まっている年となっていると思います。

輪付き問題・奇形花・花とび等、最大の注意を払い切花生産頂くことをお願い致します。

O. H/O. T

品質は、促成作型では悪くない。

抑制作型では、近年では最も品質リスクが高まっている年となっていると思います

ブラックローズ・輪付き問題・奇形花・花とび等の対策。

最大の注意を払い生産頂くことをお願い致します。

なお、オランダ産だけではなく、フランス産についても同様な傾向を示すものと思われれます。

球根品質について、近年では最も良くないであろうと予測している理由は、昨年のオランダ/フランスにおける球根生産時の気象要因から極めて冷凍保管耐性のない球根に仕上がっていると分析しているからです。(糖分蓄積・プラス温度域での低温積算 etc.)

球根流通は、

A. H/L. A

12年産で一旦過剰に流通した球根は、埼玉雪害による影響以上に、切花価格低迷が引き金となり、13年産/14年産と2年連続減少していました。(オランダ産の球根作況の悪さも…。)

結果的に切花価格は安定していましたから、15年産では前年比で約10%の球根流通数の増加となると考えられます。これは雪害からの回復をする埼玉/深谷だけの動きではなく、むしろ全国的に見えてくる傾向と考えています。

但し、16年産南半球産 A. H/L. A の流通数は減少…。15年産冷凍抑制球を使用する期間が広がることがオランダ

が産輸入量の増加している要因の一つとなっています。(案外冷静…)

加えて、O. H/O. T系からの変更も…。

O. H/O. T

記憶にないほどの欠品率となりました。球根品質も抑制作型を中心に、事故リスクが高まっています。

球根入荷スケジュール(植防統計)にも、前年とは明らかに違う流れが起きている様に見えます。

球根入荷遅れ等による流通の乱れの影響が出る場面、サイズセット販売による切花生産計画は、どこかの産地が逃げきれても、日本に球根が入ってきている事実がある以上、どこかで乱れが生じる可能性はあります。

全体的には前年を上回る切花流通が、少なくとも国産 O. H/O. T 切花では起きないのではと考えております。

16年産オランダ産・フランス産百合球根(一部17年産南半球産も関わる)

A. H/L. A

15年産球根の世界市場に対して過剰感を感じている輸出入業社は、その取引を慌てないでゆっくり進めていこうという状況の様です。

当社に起きましても、同様な傾向となっておりますが、A. H/L. A 球根についても Plamv 問題の影響が出始めました。

合わせて、古い品種の球根生産停止が進んでくる様です。一部の黄色品種/一部のオレンジ品種について確保作業を進めております。

埼玉深谷地区において70万球以上の導入数に育ってきた冬用品種の一つが、突然生産停止に近いくらいの減少となります。

当社にとりましては、衝撃的なニュースです。

17年産南半球産についても、品質改善のため複数の品種で生産停止となるという情報があります。メジロの購買力がやや低下した様ですので、平均的にオランダ現地渡し価格はやや下げてくれるようです。

意外な品種が価格的に高止まっている傾向があるのは、古い品種・球根農家にとって採算性の低い品種の淘汰と、Plamv 対策のための突然の生産停止、しかもこれらの情報は一部の関係者にしか認識されておらず、オランダ球根市場における一般情報とはなっていません。

それぞれの現象が全体に与える影響が少なくないのにもかかわらず…。

為替は、昨年よりもいくらか円高傾向となっており、仕事はしやすくなると思われれます。

そうは言っても今年の切花価格も重要です。

L/2L/3L、上位等級と下位等級の切花出荷バランスまで考えて…。

月次出荷の配色割合までちゃんと考えて…次年度導入計画を立ててください。

仮に「V. Z 社2」については、国内流通予定数の約70%

仮に「V. Z 社1」については、国内流通予定数の約60% を確保できたようです。(本当かいな?)

エルギーボについては、昨年からお願ひしていたフランス産球根生産を開始してくれました。

インディアンダ イモント 品質改善。スピオネは、13/14にサイズ up に成功。14/16 サイズ仕入は順調です。インローダ イモントも良い農家の物だけを。(やはり Plamv の影響が…。10ha 位減るといふ情報が…。)

最も仕入判断が難しくなるのは、R トリティ・ハイドパーク・セラダ・コラピチあたりでしょうか?

考える時間は十分にあるように見えていますが、しっかりと立てた切花生産販売計画が実行実現できる様な球根仕入計画・品種導入計画を立ててください。

よろしくお願ひ致します。

O. H/O. T

赤は潤沢になる。黄色は球根価格高止まり。高すぎて手が出ない水準くらいに見える?

ピンクは相対的に不足感あり。まあ、リボンヌを使えば…。フランス産リボンヌは減少との事。

カーネは、16/18・18/20 サイズだけで国内入荷予定数が大幅に増加しそうなのはビックリ。

これは有り難い!

メロの入荷予定数より増えるみたい…。

マルロは、こんなに球根ないはずなのに、ある程度確保出来たことも良かった。
でも…、本当に入るのか??

一つだけ大きく懸念している事は、品種が新しい名前でも…シラヤルボンヌより水上げが悪く、花保ちが悪けりゃ…それでも良いのかなあ?

重要な…難しい仕入となるのは白色。

これだけは慌てないでしっかり時間をかけて準備させてください。

価格だけでなく、品質の裏付けもとりながら!

シベリア・カブラカ・Pフロント・シガム・カンブツカその他諸々。

そして白 OT ザンビの将来性。

昨年までのイメージとはまるで変わってきます。(品種ごとの球根価格のイメージが大きく変わる。)

見極めましょう…慌てなくても良いです。

だって球根屋でも見極めついてないですから、(あおられないように注意…自戒も込めて…)

まだ完成度が低く、使い勝手は悪いですが…、言いにくい・伝えにくい事まで説明されている…。

当社ホームページにて作成中の品種検索エンジンは、日本語でしか書いていないにもかかわらず、国内外の若手球根業界関係者の間で、当社課長が全く営業を意識しない分析コメントをしている事に気が付いており、完成度が低い割にそれなりに好評の様です。

コンディション別評価・過去履歴からは、その再現性が見て取れます!

宜しくお願ひ致します。

以上
森山 隆



<http://www.lily-promotion.jp/>

私共はLIPJの運営に賛同し
協力・応援しています